

生きづらさを抱えた若年女性の現状

特定非営利活動法人BONDプロジェクト

BONDプロジェクト活動紹介

10代20代の生きづらさを抱える女の子のための女性による支援

2006年「VOICES MAGAZINE」始動、2009年NPO設立

聴く

ありのままの声を聴き表現できる場を作る。

LINE、メール、電話、面談、出張面談
ネットパトロール、街頭パトロール、アンケート実態調査

伝える

女の子の声を知ってもらう。

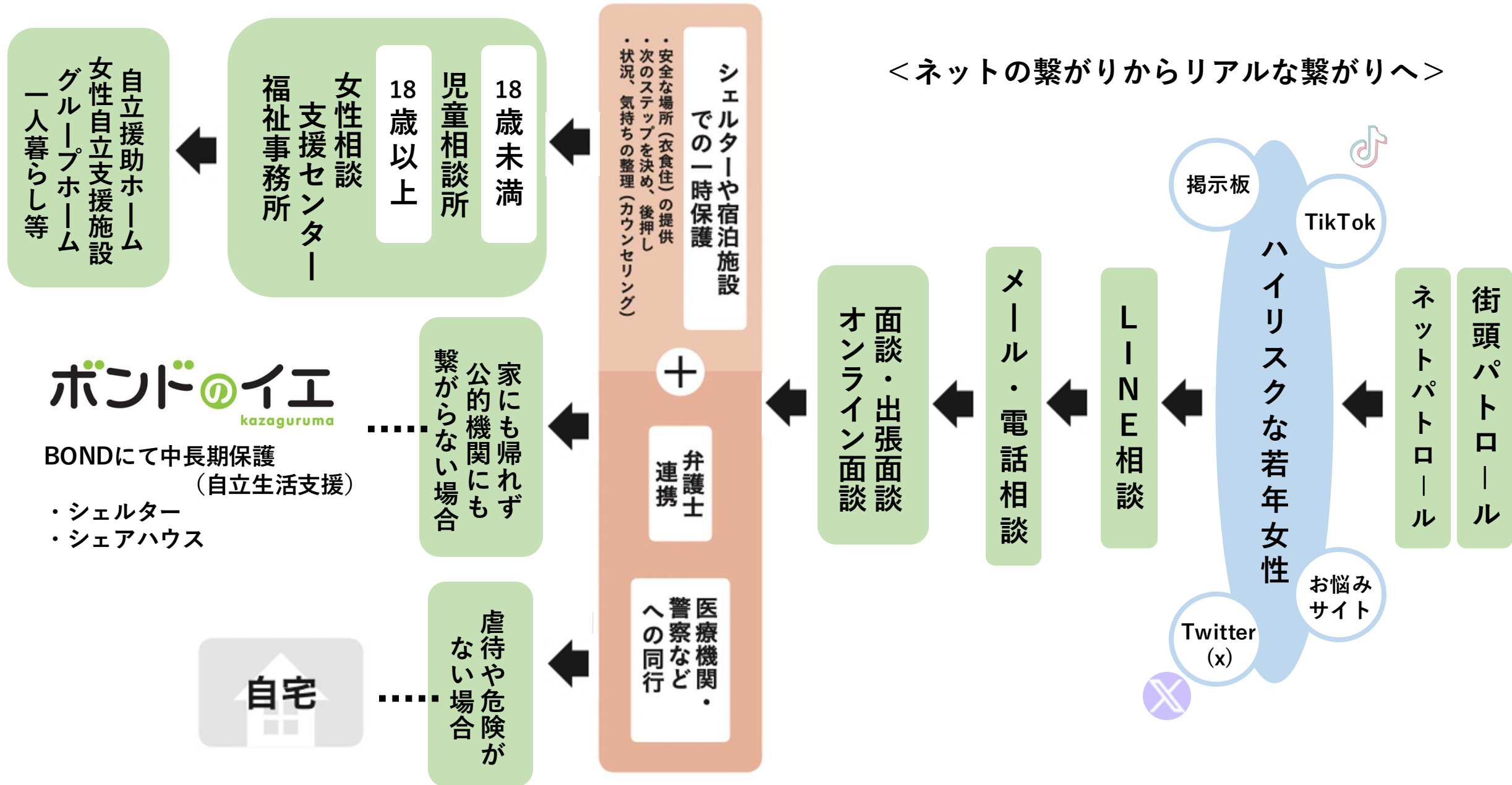
フリーペーパー「VOICES MAGAZINE」発行、webサイト「VOICES」運営
講演会・啓発活動、渋谷のラジオパーソナリティ「渋谷の漂流少女たち」
10代20代女性を対象としたイベント

繋げる

一人ひとりに見合った支援・大人に繋ぐ

全国の支援団体・公的機関等と連携して相談者を支援に繋ぐ
一時保護、同行支援、中長期保護、自立生活支援
昼間の居場所「MELT」の運営

BONDプロジェクトの支援の流れ



傾向と問題意識

- ・低年齢化、小中学生にも広がっている
- ・ODが関わる事件（誘拐、性的暴行、死亡等）
- ・トー横やグリ下の問題
子供達を搾取する大人の存在
- ・SNSにOD関連の投稿が溢れている
ODレポートやSNS上での情報交換、どれだけ飲んだかを競い合う投稿
- ・ネットに居場所を求めており、仲間意識からODをする子
ODしていないと仲間外れにされる等
- ・錠剤が飲みにくいと砕いて飲み物に混ぜて飲んでいる
- ・安易に処方してもらえる病院を巡って薬を入手している
- ・まとめて多量に処方され、処方薬をODしている

薬物乱用から守るために

購入時の規制で抑止効果があると思われる対策

- ・ 一度に買える数の上限を設ける
- ・ 立て続けに同じ薬や濫用に使用される薬を購入した場合、アカウント停止
- ・ 交通系ICのIDや顔認証などを利用した繰り返し購入できない仕組み、他店舗での購入履歴もわかるもの
- ・ 薬剤師、店舗スタッフによる声掛け

病院巡りの対策を

- ・ 医療機関間でも処方履歴を共有するなど多量処方防止の対策を。
- ・ 簡単に処方してもらえる病院の情報が共有されていることもある。

各支援機関との連携体制の構築を

- ・ 医療、福祉、警察、民間支援団体等
- ・ 規制だけではこぼれ落ちてしまう層への対策

子どもたちを巻き込んでいく大人への対策を

依存症の対策を同時に

ー ODがやめられない女の子と支える家族の声

- ・ ODがとにかくやめられず、本人も家族も悩んでいる。
薬を飲んでいないときは穏やかに話もできるが、薬を飲むと暴れてしまったり、トラブルに巻き込まれる。
- ・ 依存症専門の病院に繋がることのハードルの高さがある。
精神科に20回以上入院していても繋いでもらうことができない。
- ・ 役所や精神保健センターでは病院の紹介をされるだけで、実際に繋いでもらうことができない。
- ・ ODを繰り返したり、薬物への依存があるため、受け入れ先がなくなる。
グループホームや施設から「うちでは無理です」と言われ、居場所や暮らす場所を失うことにもなる。
- ・ 「市販薬の薬物依存」について相談でき、支援を受けられる場があると良い。
違法薬物をやってる人たちとの繋がりができてしまう怖さがある。